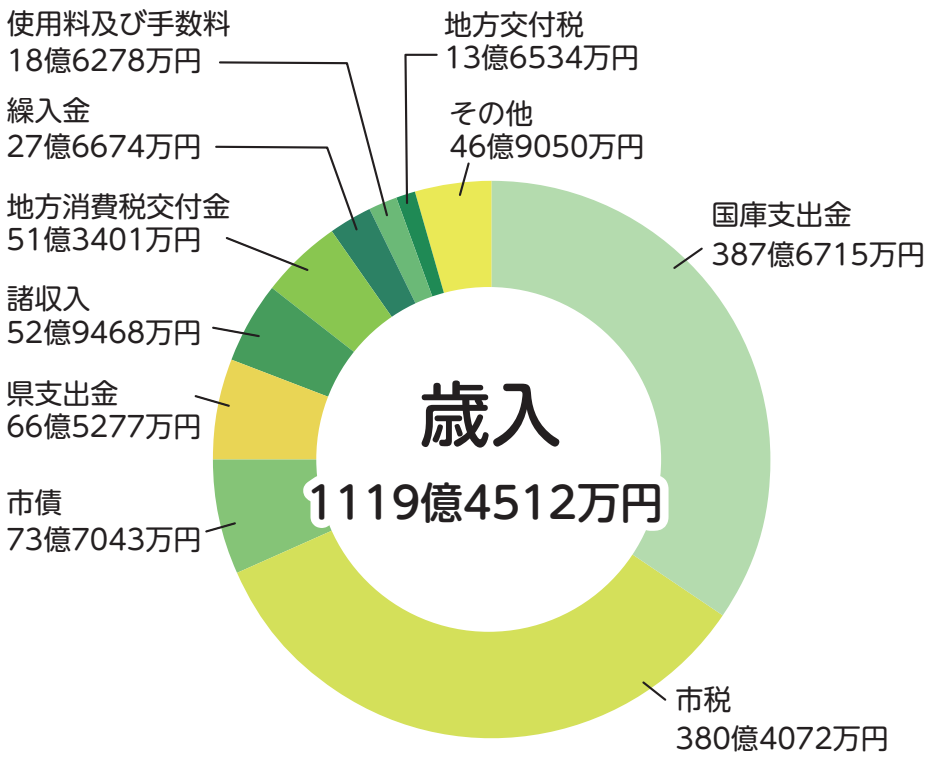
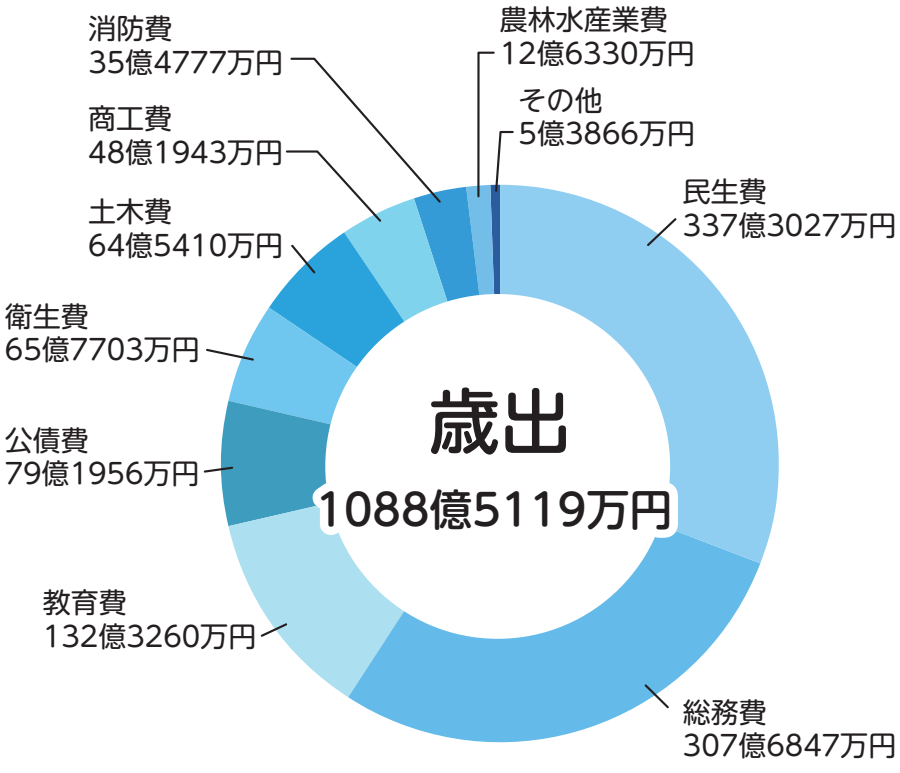
令和2年度　決算のお知らせ

財政課　☎0276-47-1816

一般会計決算

歳入歳出差引額は30億9393万円　うち20億円を基金に蓄え、残りを3年度予算として使っています。
※金額の端数は整理してあります。





主な取り組み

ハード事業
- 「北の杜学園」施設整備事業
- 運動公園陸上競技場建設事業
- 尾島体育館改築事業

ソフト事業
- プレミアム金券発行事業、飲食店応援食事券発行事業
- 第2子子育て支援事業、第3子以降子育て支援事業
- GIGAスクール構想関連事業

運動公園陸上競技場

プレミアム金券販売

目的税の使途

都市計画税(14億7715万円)	街路整備、公園整備、下水道、市街地開発の都市計画事業など33億7810万円に充てました(充当率43.7%)
入湯税(134万円)	観光施設整備事業2536万円および観光振興事業1583万円などに充てました(充当率0.5%)
森林環境譲与税(1854万円)	森林環境譲与税基金に全額積み立て、道の駅管理経費の備品購入費(69万1000円)について基金から取り崩し充てました

特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	207億7966万円	203億5351万円
住宅新築資金等貸付	1571万円	1416万円
後期高齢者医療	25億4558万円	25億3032万円
八王子山墓園	4137万円	2559万円
介護保険	173億1915万円	166億7114万円
太陽光発電事業	2億9930万円	2億8164万円

決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率を公表します

いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果となっています。

健全化判断比率　(単位:%)

区分	令和2年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	−	−	11.34	20.00
② 連結実質赤字比率	−	−	16.34	30.00
③ 実質公債費比率	5.4	5.4	25.0	35.0
④ 将来負担比率	45.1	23.4	350.0	

※実質収支が黒字であるため、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率は「−」です。
<参考>実質黒字の程度は、令和2年度:①4.87%の黒字、②9.29%の黒字
令和元年度:①4.26%の黒字、②7.52%の黒字

資金不足比率　(単位:%)

区分	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
下水道事業等会計	−	−	20.0
太陽光発電事業特別会計	−	−	

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「−」です。

比率などの概要

実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(※)に対する比率 (※)自治体が通常水準の行政を行う上で必要な一般財源の額
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の度合いを表す比率
早期健全化基準	市町村の財政規模などにより設定された数値。基準を超えた場合は「財政健全化計画」の策定が必要
財政再生基準	市町村、県ごとに設定された数値。基準を超えた場合は「財政再生計画」の策定が必要

広報おおたの入手方法　**折り込み配布**＝朝日・産経・上毛・東京・日経・毎日・読売新聞、タウンぐんま　**配置**＝市役所各庁舎や行政センターなどの市の施設、市内のファミリーマート・セブンイレブン・群馬銀行・桐生信用金庫・アイオー信用金庫・郵便局・ＪＡ・イオンモール太田・とりせん・太田理容組合加盟店(一部除く)

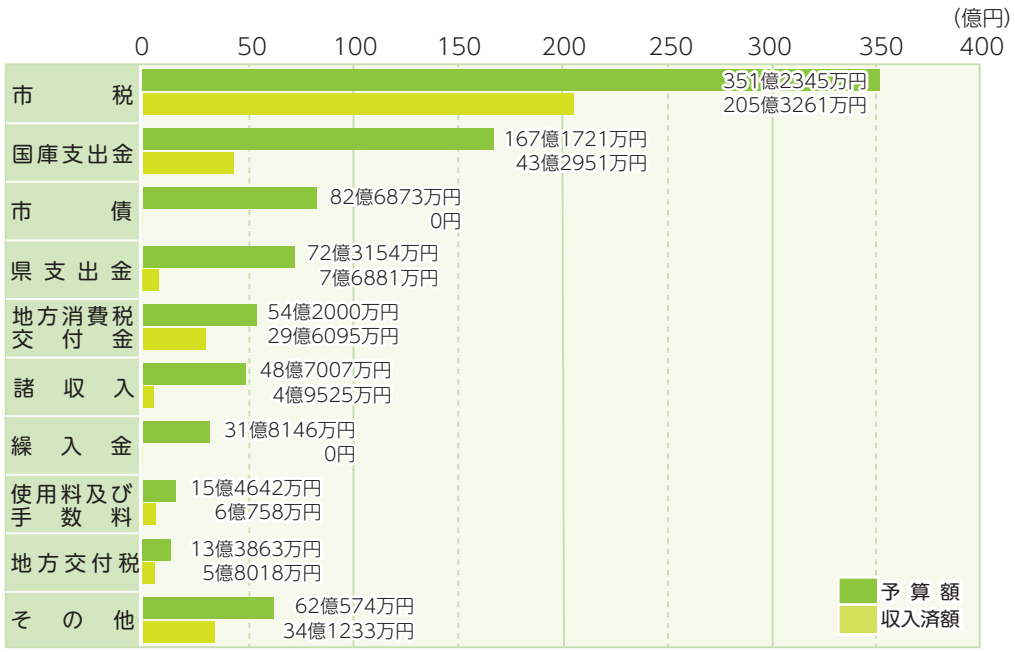
3年度

太田市の財政状況(上半期)

今回お知らせする財政状況は、3年4月1日～9月30日のものです。
※金額の端数は整理してあります。

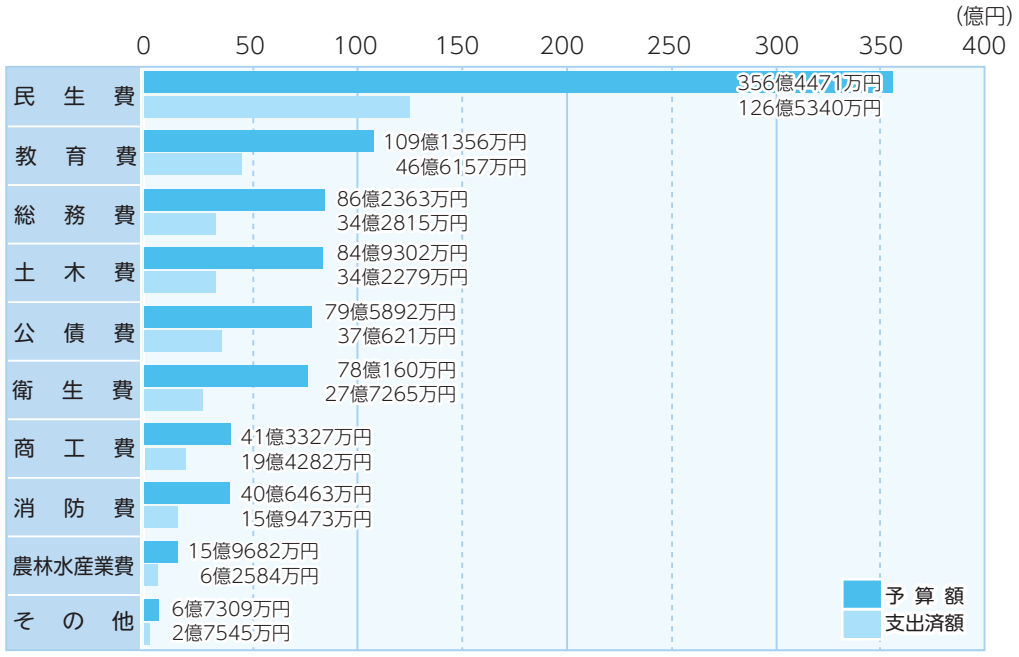
歳入

予算額　899億325万円
収入済額　336億8722万円
収入率　37.5%



歳出

予算額　899億325万円
支出済額　350億8361万円
支出率　39.0%



※歳入、歳出ともに2年度からの繰り越し分を含みます。

用語の解説

歳入

国庫支出金	特定の事業を行うため国から交付
市税	市民税や固定資産税など
市債	道や建物など、長く使う施設などを建てるために借りるお金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付
諸収入	他の項目に分類されないお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち人口割合などに応じて交付
繰入金	財源不足を補うための貯金の取り崩し
使用料及び手数料	公共施設の使用料や事務の手数料
地方交付税	財源不足を補うため国から交付
その他	財産収入など

歳出

民生費	幼児やお年寄り、体の不自由な人のため
総務費	市役所の全般的な事務
教育費	小・中・高等学校の経費や市民の学習・文化活動
公債費	借入金を返済するため
衛生費	ごみ・し尿処理施設や予防接種など
土木費	道路や河川、公園などの土木工事
商工費	商業や工業の発展のため
消防費	消防活動や災害を防ぐため
農林水産業費	農業、畜産業の発展や土地改良など
その他	議会費や労働費など

市民が負担した各種税金の内訳

固定資産税	108億3829万円
市民税	72億3683万円
市たばこ税	8億7621万円
都市計画税	8億9028万円
軽自動車税	6億9049万円
入湯税	51万円

市民1人当たりに使われたお金

人口：22万3383人
(3年9月末現在)

民生費	5万6644円
教育費	2万868円
総務費	1万5347円
土木費	1万5323円
衛生費	1万2412円
公債費	1万6591円
商工費	8697円
消防費	7139円
農林水産業費	2802円
その他	1233円

3年9月末現在の市債現在高(一般会計)

570億376万円

教育	117億2191万円
土木	79億6325万円
総務	71億8671万円
保健衛生	27億8108万円
臨時財政対策債	216億600万円
その他	57億4481万円

特別会計

国民健康保険
予算額：209億4327万円
入った額：80億1489万円
使った額：74億493万円

住宅新築資金等貸付
予算額：913万円
入った額：1169万円
使った額：42万円

後期高齢者医療
予算額：26億874万円
入った額：8億6174万円
使った額：7億6039万円

八王子山墓園
予算額：5833万円
入った額：3979万円
使った額：1895万円

介護保険
予算額：180億2333万円
入った額：73億6561万円
使った額：70億8198万円

太陽光発電事業
予算額：2億7991万円
入った額：1億4852万円
使った額：1億6902万円

市有財産 (3年9月末現在)

管財課　0276-47-1822

有価証券等	5億6622万円
出資金	46億9488万円
基金	141億5610万円
土地(山林含む)	749万4118㎡
建物	86万3080㎡

チラシ折り込みで広報おおたを配布
広報おおたの発行日以降の金曜日にお届けします。　※タウンぐんまに折り込みますので、広報のみの配布はできません。
申し込み・中止はタウンぐんまプロジェクト事務局へ連絡ください。　027-212-9010(午前10時～午後5時　土・日曜日、祝日を除く)